

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

人間くさい知略を働かせる 野中 郁二郎 (一橋大学名誉教授)

1. 経営学や経済学はこれまで、わかりやすい正解を求めることにとらわれすぎた。人の営みであるはずの経営や経済に、人間が不在だったのだ。だからこそいま、科学的アプローチへの依存を脱し、人間的側面から問い直す必要があるのではないか。
2. 人間は、他者との関係性において、主体的に未来志向で意味や価値を生み出す存在だ。人がそれぞれの「思い」を出発点に、環境変化の中で現実の文脈に身を置き、他者、モノ、環境すべてとの相互作用を通じて「より善い」を求め続けることでしか、組織の価値を創造することはできない。
3. 21世紀は「知」の時代だ。日本を、安全保障も含めた総合的な知略国家にする必要がある。国家に大切なのは知力、つまり、国民の「思い」の集合知だ。単なる経営手法の枠組みを超え、日本をどうしたいかという知略が企業経営者にも必要なのではないか。数字への過度な偏重から脱し、人の知恵と思いを結集する「人間くさい知略」を働かせ、知徳国家としての自負を持つことが求められる。

(参考:「日経ビジネス」2021年3月29日号)

幹部への活きた言葉

「自我」と「自己」の区別

青山 俊薫 (愛知専門尼僧堂堂頭)

1. お釈迦様の仏法というのは天地宇宙の真理ですから、そこを真っすぐに見つけていきなさいというのが道元禅師の根本の教えです。例えば、道元禅師は「自我」と「自己」とを分けて考えられました。「自我」というのは凡夫の私、ウジウジと悩んでいるのは、この小さな私を中心とした「自我」です。
2. しかし、そんな悩んでいる私も天地の総力を挙げての働きの真っ只中に抱かれている。しゃべることも、手を回すことも、心臓が動くこともすべてこの働きからのいただきものです。その働きに、生かされている私が「自己」です。小さなどうにもならない「自我」を、その宇宙の働き、そのものの「自己」の真っ只中に投げ込んでいきなさいと道元禅師は教えられた。

(参考:「致知」:2021年6月号)

人事・労務について

希少性を高める

藤原 和博 (「朝礼だけの学校」校長)

1. テレカン(テレビ会議)が当たり前になることで、その会議が本当に必要なのかが問われるようになりましたし、皮肉にも、「部長や課長がテレカンで大したことしか言わない」といったこともバレてしまうようになりました。そういった点からも、コロナ前の「情報処理能力」の時代から、コロナ後の「情報編集力」の時代に大きくシフトしたといえます。
2. さらに今後、AI(人工知能)が発達することによって、人間がしていた仕事の多くがAIを搭載したロボットに取って代わられるようになります。つまり「処理」するだけの仕事はなくなってしまうのです。こうした変化の時代にビジネスパーソンが生き残るには自分自身の価値を上げることが大事です。言い換えれば「希少性」を高めることです。

(参考:「週刊東洋経済」2021年4月3日号)

古典に学ぶ

道徳はすべての人が守るべきもの

(解説) 商業道徳というと、商業にのみ道徳があるように聞こえるが、道徳というものは世の中の人道であるから、たんに商業家にのみ望むべきものではない。商業の道徳はかくある、武士の道徳はこうである、政治家の道徳はかようであると、なにか官服の制度見たように、線が三つあるとか四つあるとかいうごとき変ったものではない。人道であるから、すべての人が守るべきものである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」): 国書刊行会